

## 赤須賀漁港の不思議な道具達その3

上の写真は「パッカ機」と呼ばれ、赤須賀の港で晩秋から初春にかけて登場する道具です。

この時期のシジミには、死んでしまってもなお口を閉じた状態「くいしばり」で砂や泥の中に留まっているものも多く、これらを除くために大変重宝する道具です。

使い方は、モーターや手動などで、筒状に組まれたカゴを回転させ、その中に水揚げしたシジミを少しずつ投入していきます。

遠心力により、最上部に上がったシジミが落下することで、閉じた殻がパカッと開き、カゴの隙間から外に飛び出る仕組みです。

手作業ではなかなか選別できない「くいしばり」ですが、この道具があることにより、効率よく選別できます。

この時期には、なくてはならない大切な道具です。



選別の強い味方「パッカ機」



回転するカゴの中でシジミが上から落下します